

理科研究会報

行 理 科 研 究 部 局
成 田 小 学 校
成 田 市 幸 町 9 4 8
成 田 市 幸 町 9 4 8

第39次 印教研 理科研究部集△△

盛△△に終わる

10・17 第39次 印教研理科研究部集△△が成田小学校を会場として開催されました。会員数 四百を越す理科研究部。三分科会にわかれ各部会からの提案に基づき、熱心な研究協議。その充実ぶりは、さすが理科研究部 と思わされるばかりでした。今号と次号では、助言者の先生方に聞いた、39次印教研理科研究部集△△の感想やご意見を掲載したいと思ひます。今後の実践、研究活動に参考にしていただけたらと思ひます。

小学校高学年分科会

助言者 石 井 望

教育研究集会も、本年度で三十九回を迎えるという。第六回から理科部会に参加させていただいて

いるが、感慨深いものがある。さて、以下、各部会ごとの提案について、感想を述べさせていただきたい。

第一提案

「意欲的に学ぶ子どもの育成」

(一部会)

今までの研究実践を踏まえて、まとめの段階に焦点をあて、一人ひとりを生かす研究であり、方向としては大変よいと考える。

まとめについても、個人のまとめ、グループのまとめ、学級全体のまとめがあるので、それぞれに

から教材を見付け、工夫し、自己の問題として学習させていく研究であり、三年目ということでもまりのある研究であった。実践例をもう少し多くのせると、会員にもわかりやすかったと考える。

第四提案

「楽しさを抱かせる、

理科指導のあり方」

― 天文観察ガイドブックを

利用して ―

(二部会)

教師にとっても、なかなか取りつきにくい天文教材を、だれでもが、手引書として利用できるガイドブックの作成については、大変良い資料となり、完成が期待されるものである。夜間や戸外での観察となるので、安全に対する留意点も検討してほしい。

第五提案

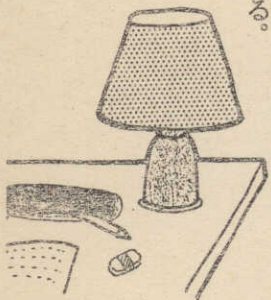
「人体の成長や働きについて、

認識を深める指導法は

どうあるべきか」

(三部会)

新指導要領で、大きく変わった内容を取り上げており、研究の成果が期待される。また、研究をどう進めるかという計画の段階であるが、保健指導、体育科等との関連についても検討してほしいものである。



小学校低学年分科会

助言者 今 井 正 臣

第三十九次教育研究集会の提案は、研究主題「子どもたちが興味を持ち、主体的に参加する理科学習」に基づき、各部会の協同研究によるものであり、印旛地区の急激な宅地開発による自然消失の中で、学校周辺の自然をどう利用しどのような自然にどう直接経験させればよいのか、子どもの目を自然の営みに向け、自然から学ばせようとする研究が多く、低学年部会としては、生活科へつなぐ理科の方向としても良い研究が多かった。理論的にはどの研究も整っているが、実践研究での追究がしている面がみられた。指導法の改善や教材開発により授業を実践したことから、子どもがどう変容したと

参加会員の声

木 刈 中 学 校 福 岡 利 之

初めて教研に参加させていただいて大変驚きました。新しい教材、教具や実験器具、装置の開発にどの部会も腕をふるって研究発表されていたのが、新米の私には、とても新鮮で、どの研究内容も強く印象に残りました。最近の理科教育の問題点は、豊かな経済社会により、物質、情報があふれて、豊かな生活の中で子どもは育ち、日常生活で自然に

いうデータ不足が目立った。研究の計画をみると、三年計画で進められていることが多く、結論を急ぐ傾向がみられる。このような実践の面がどうしても落ちてくるのではないだろうか。研究がまとまった後の実践での児童の変容に対するデータを積み上げた研究こそが、地についた実践記録となり、広く各学校で利用され、定着するものと思う。それ故、もっとじっくりと腰を落着けた研究があつて良いのではないかと感じた。

また、小学校低学年の理科教育の向上は、女子教員の力に負うところが大きい。各部会の研究員に女子教員の積極的な参加をはかってほしいと思う。

最後に各部会の研究の概要を紹介して、一般の教員の積極的な参加の方向付けとしたい。

第一部会 意欲的に学ぶ子どもの育成(まとめの段階を重視して)

第二部会 地域の自然を取り入れ、楽しさを抱かせる理科学習

第三部会 児童に感動をもたらし

第四部会 直接経験を持たせにくい学習にどう取り組むか

第五部会 考える態度を育てる

理科学習

身近な自然を利用しての子ども

の主体的性向上の取り組み。

な物事のとりえ方、思考力」をどうのばしていくかが最大の課題であるように思われます。

教研に参加して、諸先輩方の貴重な研究発表や熱の入った討議をまのあたりにし、日頃、抱いていた私の課題意識、研修意欲が啓発されたような気がしています。

充実した教研での成果を多くの先生方に広めたいものです。中学校の講評は次号に掲載させて頂きます。

印刷部会